



京都大学

設置期間 2020年7月1日～2023年6月30日

寄附者 一般財団法人港湾空港総合技術センター/一般財団法人沿岸技術研究センター/一般財団法人みなと総合研究財団

 「ICTの進展に対応したグローバルロジスティクス
 及び港湾インフラ整備の高度化に関する研究」


教員紹介



山田忠史 教授

専門分野
 ロジスティクス、交通計画
担当科目
 Transportation and Logistics Management
 プロジェクト・オペレーションマネジメントワークショップ
 / International Project Management Workshop
Message

貨物輸送、サプライチェーンマネジメント、マルチモーダル交通、観光などを対象に、交通渋滞・交通事故・環境負荷などの社会問題を考慮しながら、実際の事例や計画、あるいは、理論的解析を通じて、交通サービスのあり方や交通ネットワークの設計について考究します。



小林潔司 特任教授

専門分野
 計画・マネジメント論
Message

高度情報化・知識集約型社会における公共政策の策定・運用・管理のあり方について、経済学的・工学的知識に基づいて考えていきましょう。政策評価やゲーム理論の考え方や手法について、実際のケーススタディを例にとりあげながら研究を進めていきます。



宮島正悟 特定教授

専門分野
 ロジスティクス、港湾施設
担当科目

グローバルロジスティクスと海運・貿易

Message

サプライチェーンのグローバル化、ICTの進展など国際物流を取り巻く環境が大きく変化する状況下で、港湾物流やそれを支える港湾施設整備をさらに効率的、戦略的に進めるための研究に、様々な角度から取り組みたいと思います。



岡村京子 特定准教授

専門分野
 港湾物流、ロジスティクス
担当科目

グローバルロジスティクスと海運・貿易

Message

港湾は海外・国内の物流を支える社会基盤として大きな役割を果たしてきました。世界情勢が目まぐるしく変化するなか、港湾物流への影響や今後港湾に期待される役割について、情報通信技術の進展を踏まえ研究していきます。



小野憲司 客員教授

専門分野

災害時物流、事業継続マネジメント、港湾物流システム

Message

災害に対する地域社会と経済のレジリエンシーは、災害発生時の人的被害を最小化するとともに、災害後のいち早い経済活動の復興を可能とする物流がその一端を担っています。そのような物流システムの構築と運用に向けた平時からの備えの在り方の明確化とそのための科学的アプローチの発展に寄与したいと考えています。



宮田正史 客員教授

専門分野

港湾工学、信頼性設計、技術基準

Message

港湾インフラの整備と維持管理の高度化・効率化に向けて、海外の事例・動向も参考としつつ、全体最適の視点とICT導入により、国内における既存の業務プロセスに対する改善方向性について、研究を進めたいと考えています。



飯田純也 客員准教授

専門分野

港湾物流、データ連携技術

Message

国際貨物輸送においては多岐に渡る民間企業・行政機関が関わっています。これらステークホルダー間のスムーズな情報伝達による効率かつ安全・安心な貨物輸送に向け、情報技術の適用や標準化に関する研究に取り組みます。



河合美宏 特命教授

専門分野国際マネジメント、金融、公共政策
グローバルリーダーシップ**Message**

民間企業、日本政府、外国政府、国際機関の経験、特に金融関係の国際機関のスタートアップから事務局長として経営に携わってきた20年の実務経験から培った知識、知見に基づく国際マネジメント、金融リスク管理、政策立案、意思決定、リーダーシップ等についての講義、研究を通じ、世界で活躍を目指す学生、受講者の助けになりたい。



渡部富博 特命教授

専門分野

港湾物流、港湾計画、ロジスティクス

Message

経済のグローバル化や情報化の進展など国際物流を取り巻く輸送環境が大きく変化するなか、港湾物流をさらに効率的、戦略的に進めるための研究を、理論と実務の両面から進めたいと思います。